

# 月刊脊振

福岡県議会議員  
(南区選出)  
**ひぐち明**  
県政活動報告誌



夢への挑戦だ!!  
あきひぐち

## 五ヶ山ダムで水力発電を!



暑い夏が近づき、山笠の水法被姿の男衆が街を闊歩する季節となりました。例年、この時期には真夏に向けた降雨量やダムの貯水率を心配してきた福岡ですが、今年は水問題よりも電力問題のほうが深刻なようで、議会でも計画停電や節電要請など、電力確保についての対策が取りあげられています。水と電気は私たちの生活を支えるライフラインであり、その確保に政治が尽力するのは当然の義務だといえます。そこで私が注目したのが、今年度からはじまる五ヶ山ダムの本体工事です。五ヶ山ダムの完成は、長い間、水不足や洪水に悩まされてきた福岡県にとって、治水の切り札として期待されています。この五ヶ山ダムが、治水だけではなく、発電にも威力を発揮してくればどれほど心強いことでしょうか。五ヶ山ダムの規模は総貯水容量4,020万 $m^3$ 、ダム高102.5m。いうまでもなく県内最大のダムであり、これだけの大事業に着手するからには、このポテンシャルを最大限有効に活用すべく十分な検討をすることが我々の義務だと思っています。

ご存知の通り、東日本大震災によってわが国の原発の安全神話が崩れ去ったいま、脱原発の主力となるべきは再生可能エネルギーである自然エネルギーです。

例えば、原子力依存からの脱却に国家的に取り組んでるドイツでは、好天の日では電力需要の50%近くを太陽光発電でまかなうほどであり、新たな主電力として自然エネル

ギーを中心に据えることは決して実現不可能な夢物語ではありません。そこで私は、先月の県議会において五ヶ山ダムの水力発電の導入に向けての質問を行いました。

## 五ヶ山ダムのスケールを発電に活かしたい

福岡には、すでに水力発電を行い電力供給を行うことを目的として事業着手した日向神ダムの例もありますが、五ヶ山ダムの事業計画においては、現状では発電のための容量は持たない予定になっています。しかし、事業計画をたてたときと現在では状況が異なります。発電のための容量がなくとも、下流に放流される維持用水や水道用水などの水力を有効活用するなど、方法を模索してみることはできるはず。小川知事からは「国と協議を重ね、五ヶ山ダムの水力発電の導入を検討したい」とのお答えをいただきました。五ヶ山ダムが、その壮大なスケールを発電という面でも活用可能となるよう、期待したいと思います。

今後、我が国が脱原発の方向へ進んでいくということは、いたって普通の考え方であり国民多数の願いだと思えます。

政府は東日本大震災後に発表した「原発は40年で廃炉にする」という方針を見直そうとしています。福島で起きた大惨事のことを直視し、政府が脱原発の理念を共有しているというメッセージを国民に発信していただけることを願っています。

そして、福岡県でも自然エネルギーの発電力アップに向けた最大限の努力をしていくよう、声を上げて行きたいと思っています。今後とも、応援よろしくお願いたします。

## 南区トピックス

もうすぐ夏休みです。南区では、南区にお住まいの方や、南区区内に通勤・通学する方々のために、「南区出前講座」を行っています。アビスパ福岡による講座や、ボール運動練習も人気です。詳しくは南区ホームページをご覧ください。